

観世九臯会

かんぜききゅうこうかい



四月 定例会

Noh Kyogen
KANZE KYUKOHKAI
10 April.2022(sun)
Yarai Noh Stage

令和4年4月10日(日)
於 矢来能楽堂

【第1部】12:30開演(12:00開場)

14:15終演予定

—客席入れ替え—

【第2部】15:30開演(15:00開場)

17:40終演予定

※第2部のみ前年と開演時間が変更となります。ご注意ください。

主催：公益社団法人 観世九臯会

感染予防にご協力をお願いいたします。

◆ ご来場の際のお願い

- 体調不良の方は、当日でもご来場をお控え下さい。
- ご入場の際は必ずマスクをご着用ください。
- 入口にて手指のアルコール消毒と検温にご協力下さい。
- 37.5℃以上の発熱がある方は入場をお断りさせていただきます。
(上記にご協力いただけない方には、ご入場をお断りいたします。)
- 上記にて入場不可となった方へは、ご事情を伺った上で、払い戻しをさせていただきます。チケットを半券ともにご保管の上、ご連絡下さい。

◆ 会場内でのお願いなど

- 喫茶室は閉室しております。場内でのお食事はご遠慮下さい。
- 場内のウォーターサーバーは、使用停止とさせていただきます。
- 水分補給のためのお飲み物は、ご持参ください。
- 換気のため、お席によっては空調が強く当たるところがございます。
ご自身にて上掛け等をご持参ください。
- 出演者へのご面会、お差し入れは当面の間、ご遠慮ください。

• 矢来能楽堂のお手洗いは数が大変に限られております。なるべくご来場前にお済ませ頂き、ご利用の際は間隔をあけてお並びください。

◆ 上演にあたってなど

- 上演中も、マスクの着用をお願いいたします。
- 舞台上も出演者の感染予防対策を講じた形式での上演とさせていただきます。
- 公演の前後および休憩中には外気を入れ、会場内の換気をいたします。
- 場内換気のため、上演中もロビーとの扉は開けさせていただきます。
- 1部、2部とも続けてご覧になる方も、一旦退館をお願いいたします。
- 万一、来館者ならびに出演者・スタッフに感染が疑われる者が後日、発生した際は、所轄の保健所へご来場者様情報を提出させていただく場合がございます。

このほか、矢来能楽堂ホームページにて、「矢来能楽堂における感染予防措置」をご確認の上ご来場ください。
皆様の健康と安全を第一に考えて実施したしております。
ご不便をおかけすることもございますが、何卒ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

矢来能楽堂・公益社団法人 観世九臯会

全指定席(各部)

正面席 5,500円 / 脇正面・中正面席 4,400円

学生券(脇正面・中正面) 2,200円 ※学生券は26歳未満(要学生証) 未就学児入場不可

1部2部通しセット(脇正面・中正面のみ) 7,800円

矢来能楽堂のみ取扱い

【注意事項】

- 記載の演目・演者等はやむを得ない都合により変更になる場合がございます。
- 許可のない録音・撮影は一切禁止です。
- 携帯電話は電源からお切りください。
- 演能やほかのお客様の迷惑となる行為はご遠慮願います。
場合によっては退場していただく場合がございます。

新型コロナウイルスの感染状況や行政機関などによる指示、各種ガイドラインの変更・更新等に伴い、内容に変更がでる場合がございます。最新情報は矢来能楽堂ホームページや公式ツイッターなどで随時お知らせいたしますので、ご来館時などには必ずご確認くださいませよう願いたします。

能・狂言
観世九臯会
矢来能楽堂

162-0805 東京都新宿区矢来町60

【お申込み・お問合せ】

矢来能楽堂・観世九臯会

電話：03-3268-7311 FAX：03-5261-2980

メール：yarai@eos.ocn.ne.jp

http://yarai-nohgakudo.com/



カンフェティチケットセンター
(WEB予約後セブンイレブンで発券)
電話：0120-240-540

表紙写真「三光尉」 撮影：青木信二

◆ご注文・問合せ
柳能楽書林 九段下駅徒歩すぐ
TEL 03-32664-0846
FAX 03-32664-0847
メール shoin@mercury.plala.or.jp

柳沢新治著
『横からみた能・狂言』
長年、NHKの能楽放送に携わった著者が著した、現場ならではの「放送回らばなし」をはじめ、能の歴史をひもとく「能の歴史」・心に残る人々との思いの随想「出会いと別れ」・能をモチーフとした推理小説「能舞台の目撃者」など、バラエティに富んだ内容を一冊にまとめた好読物。
四六判・二三三頁
本体二〇〇〇円十税

能楽書林
権藤芳一著
『能楽手帖』
簡潔な解説で携帯にも便利な能楽鑑賞事典。見聞き一曲で、上演頻度の高い一三〇曲を厳選して収録。曲ごとに、あらすじ・みどころ・作者・素材・各流の小書などが書かれ、観能の手引に最適な書。巻末に用語解説も付す。
新書判・三〇二頁
本体一四〇〇円十税

観世九臈会 四月定例会

令和四年四月十日(日) 於 矢来能楽堂

【第一部】 十二時三十分開演(正午開場)

番組

能 須磨源氏
シテ 桑田 貴志
ワキ 館田 善博
ワキツレ 吉田 祐一
小鼓 鳥山 直也
大鼓 柿原 光博
太鼓 大川 典良
八反田 智子

ワキツレ 小林 克都
問 前田 晃一
後見 中森 貫太
弘田 裕一
地謡 金子 仁智翔
久保田 宏二
遠藤 喜久
河井 美紀
奥川 恒治
中森 健之介
鈴木 啓吾

休憩十分

(午後二時頃)

狂言 鬼瓦
シテ 三宅 近成
アド 三宅 右近

後見 前田 晃一

(終演予定 午後二時十五分)

【第二部】 午後三時三十分開演(午後三時開場)

番組

白楽天 中所 宜夫
仕舞 吉野 天人
観世 喜之
小島 英明
地謡 石井 寛人
観世 喜正
永島 忠修
永島 充

休憩五分

(午後三時五十分頃)

能 采女
シテ 坂真 太郎
ワキツレ 矢野 昌平
ワキ 村瀬 慧
ワキツレ 村瀬 提

問 三宅 近成
後見 遠藤 和久
駒瀬 直也

大鼓 原岡 一之
小鼓 鶴澤 洋太郎
地謡 金子 仁智翔
石井 寛人
奥川 恒成
新井 麻衣子
中森 健之介
佐久間 二郎
永島 充
小島 英明

(終演予定 午後五時四十分)

附祝言

能 須磨源氏

日向国の藤原興範は伊勢参りの道中、須磨の浦に立ち寄る。光源氏が植えたという若木の桜を眺めていると老翁がやってきて、光源氏の物語を語る。さらに自らはその化身であると仄めかして姿を消す。興範の夢枕に天上界から光源氏が降臨して、須磨の浦の月の下で舞を舞う。

『源氏物語』において、京を一時退去した光源氏が一人心を慰めた須磨。現行曲で唯一、光源氏をシテとする能である。

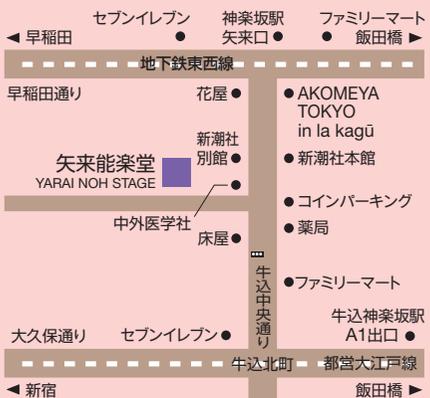
狂言 鬼瓦

長く在京していた大名はようやく帰郷

できることになり、太郎冠者を連れて、日頃から信仰する因幡堂の薬師如来を参詣する。大名は因幡堂を見て回る中で、鬼瓦に目を留める。その顔に故郷の妻の面影が重なり：

能 采女

春の頃、旅僧が春日大社に参詣する。そこへ一人の女性がやってきて、神社の神域に聳える三笠山に木を植える謂われを語る。女性は僧を猿澤の池へ案内し、昔天皇の心変わりや恨んでこの池に身を投げた采女の跡を弔うよう請う。そして自らがその采女の幽霊であると明かして池の底へ消える。僧が弔う折節、采女の幽霊が現れ、天皇に仕えた日々を思い返して舞を舞う。



地下鉄東西線神楽坂駅 矢来口より徒歩2分
都営大江戸線牛込神楽坂駅 A1出口より徒歩5分
駐車場はございません。近隣のコイン駐車をご利用ください。